

作成日 2006年 9月22日

改訂日 2007年 9月26日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 セメダイン 変成シリコーンシール
 会社名
 住所
 担当部門
 電話番号
 F A X 番号
 緊急連絡先
 整理番号

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
 化学名： 変成シリコーン系シーリング材

成分	C A S 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有量
酸化チタン	13463-67-7	(1)-558	1～10%

酸化チタン：労働安全衛生法57条の2第1項 通知対象物質

政令番号【191】

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性：

物理的及び化学的危険性；指定可燃物であり、可燃性である。

分類の名称（分類は日本方式）：分類基準に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、安静にする。必要に応じて、医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ炎症などの症状がでた場合は、直ちに医師の診断を受ける。
 目に入った場合：多量の水で15分以上洗眼し、痛みなどの異常がある場合は、直ちに医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗う。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：泡・A B C 粉末・炭酸ガス消火器
 特定の消火方法：火元への燃焼源をたち、消火剤を使用して風上から消火する。
 消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては、有機ガス用防毒マスクなどの保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：皮膚に触れないように、保護具を着用する。

除去方法：少量の場合は、紙や布で拭き取り、また、多量の場合は、スコップ等ですくい取り空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策：目、皮膚などに触れないよう保護手袋等の保護具を着用する。

注意事項：取り扱い後は手洗い及びうがいを十分に行う。

保管：

適切な保管条件：直射日光を避け5℃～35℃で保管する。

その他：消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところにしたがう。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：使用する際には、換気を十分に行う。

また、取り扱い場所の近くには、手洗いや洗顔のできる設備を設置する。

許容濃度：設定なし

保護具：

呼吸用保護具：

保護眼鏡：状況に応じ保護めがねを着用する。

保護手袋：着用する。

保護衣：長袖作業衣や前掛け等を着用する。

9. 物理及び化学的性質

物理的状態：

形状：ペースト

色：各色（黒色を除く）

臭い：

密度：1.4 g/cm³ (20℃)

引火点：220℃以上

10. 危険性情報

安定性：通常の取り扱い条件において安定

反応性：危険な反応なく安定。

11. 有害性情報

急性毒性（50%致死量等を含む）：

特殊シリコン変性ポリマー； LD50 20 g/kg（経口・ラット）

刺激性（皮膚、眼）：人により繰り返しあるいは長期の暴露により、炎症あるいはヒリヒリする場合があります。

感作性：知見なし。

その他：

12. 環境影響情報

現在のところ知見無し。

13. 廃棄上の注意

都道府県条例に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。

焼却する場合は焼却設備を用いて、少量ずつ焼却する。

14. 輸送上の注意

容器を転倒、落下、破損がないように取り扱い、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制：消防法、船舶安全法などの法令の定めるところにしたがう。

国連分類： 該当しない

国連番号：

15. 適用法令

消防法：非危険物 指定可燃物（合成樹脂類）（指定数量；3000kg）

労働安全衛生法：法第57条の2第1項 通知対象物質；酸化チタン

化学物質管理促進法（PRTR）：非該当

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための自主管理規定

J A I A 0 0 7 7 0 4 F☆☆☆☆

参考資料：日本化学工業会編「製品安全データシートの作成指針」

J I S Z 7 2 5 0 「化学物質等安全データシート」

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。なお、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。